

WEBサイトを作ってみよう

・ はじめに ・

私がなぜWebサイトを作ろうと思ったかということ、5月に行われた
だいずさん主催の学びプロジェクトに参加したのがきっかけです。
その学びプロジェクトでは、だいずさん自身が作った自己紹介Webサイトを
紹介してくれて、私も一度作って見たいと思いました。また、今の時代
私が小学生の頃はやっていなかったプログラミングを小学校の授業で行
っていて未来はプログラミングできて当たり前の世界になっていそうな
ので私もいまのうちに色々挑戦していこうと思いました。



Webサイトの作り方

文字を配置する。その後、背景の
写真を少し編集し、文字などを
見やすくし、雰囲気合うようにする

STUDIOを使う



STUDIOでアイコンを押すと私の自己紹介が開く仕組みを入れたり
画像を入れたり自己紹介をいれる



InstagramやLINEに飛べるアイコンが使えるか確認



リンクをもっていたら公開される設定にし公開



完成



まずは、、、

何も参考にせず自分の直感を頼りに
Webサイトを作ってみました。



そして、完成したのが、、、

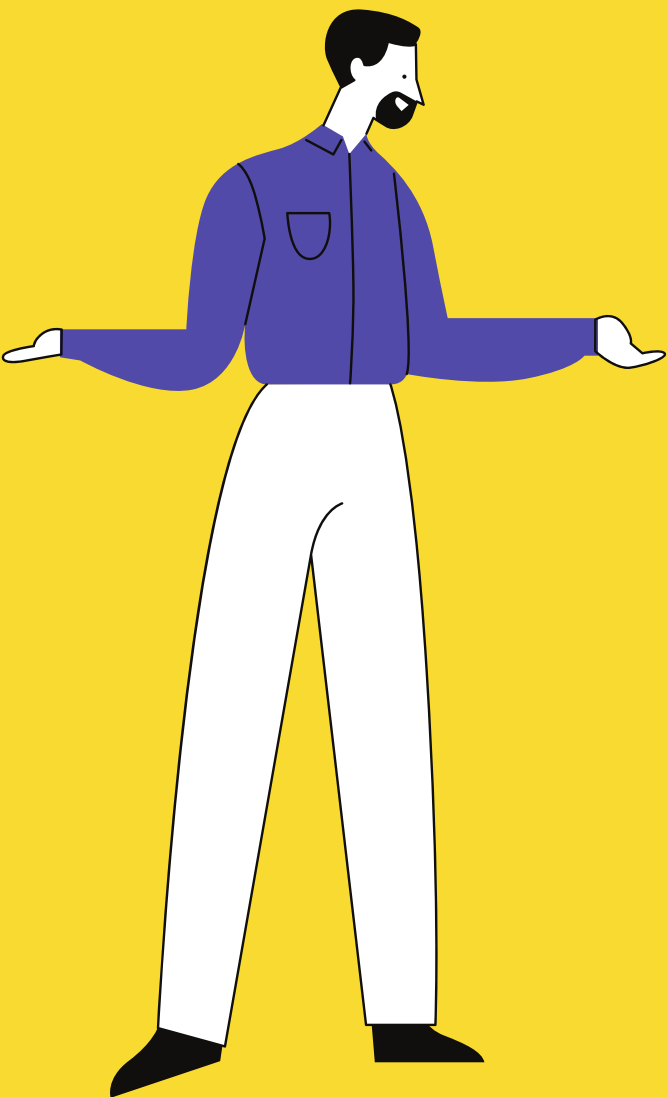


そこでデザインを学んで見ようと思います

しかし、、、

自分の中では良いものだとは思っているが、

なにかが足りない!!!



デザインとは,,,



デザインとは、私の中では
ある4つの物が集まったものであると思う

それは、

- 1, 文字と文字組み
- 2, 言葉
- 3, 色
- 4, 写真

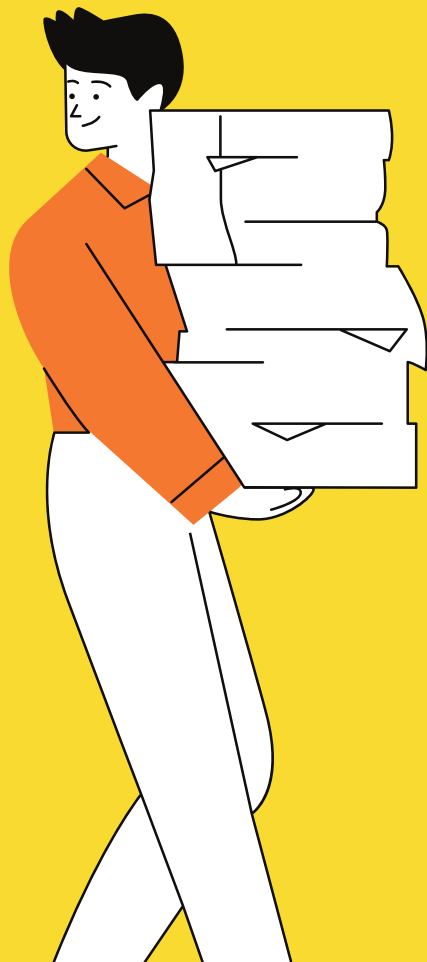


1, 文字、文字組み

文字の字体を変える事によって雰囲気や感じ方が変わってしまう。
また、字間、書体、場所、サイズを変えることによってがらっと印象が変わる

そのためにはまずそれぞれの字体の特徴を理解することが大切

今回は
明朝体、ゴシック体、装飾書体、楷書体
を調査していく～！！

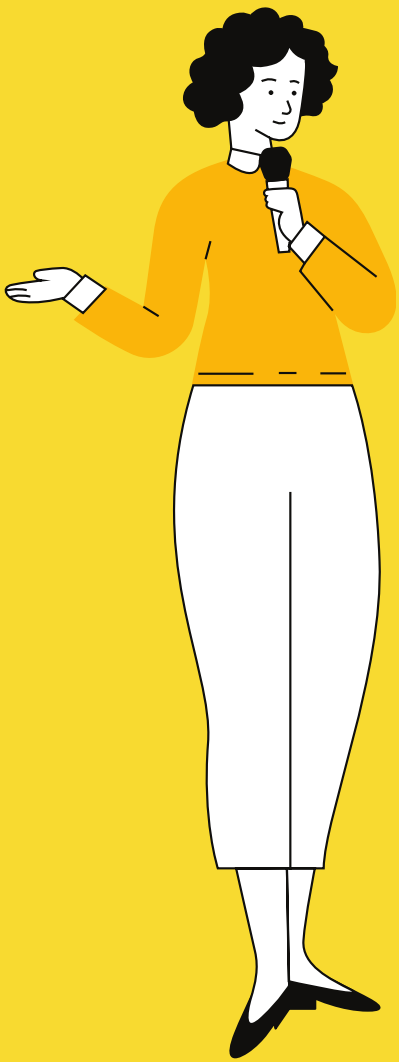


ゴシック体

ほとんど太さが同じで、字が力強くはっきりしているため
見出しや強調したいものに使われる。

明朝体

線の端に「はね」や「はらい」などがある書体で、書体によって
全く違う雰囲気になる。日本語の文章は明朝体で書かれやすく読みやすい



ゴシック体 or 明朝体

望

望

ゴシック体のほうははっきりしているのに対して
明朝体は細く日本語にあってるなぁと感じた

装飾書体

見出しやロゴで使用されるような個性の強い書体
個性があり文章にはあまり向かない書体である

望 望 望
望 望

装飾書体の例

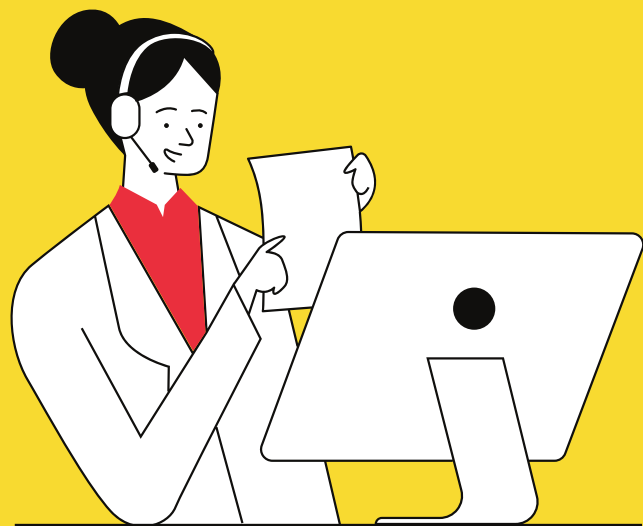
装飾書体は個性が強く、楷書体は習字の字を
見ている感じだと感じた。

楷書体

日本の伝統的さや歴史を感じれる書体。字画を続けたり省いたりせず
一画一画離す字体である。書道の見本などでよく使われ和風感が生まれる。

望 望
望

楷書体の例



2, 言葉

私達にはコミュニケーションする手段は2つある。

- ・ 言語コミュニケーション
- ・ 非言語コミュニケーション

私的には、言語コミュニケーションはまだイメージは付くが
非言語コミュニケーションは全く想像がつかない

では、2つについて調べてみよう



言語コミュニケーション

言葉などの「文字による表現」

・ Good Points ・

受け取り方に個人差がない
物事を的確に細かく説明できる

・ Bad Points ・

同じ言葉を理解できないと使えない
直感的に内容がわからない
長い文章だと飽きやすい



非言語コミュニケーション

写真などの「ビジュアル表現」のこと

・ Good Points ・

同じ言語がわからない人でも理解できる
見てすぐ内容がわかる
文字でないからこそ伝えられることがある

・ Bad Points ・

伝わる情報が曖昧
受け取り方に個人差がある
色などの制約をうけやすい



非言語コミュニケーション



言語コミュニケーション

or 海



「海」という言葉だけでは空の様子などが分からず海があるということしかわからない。

しかし写真があることによって夕日の海ということもわかる。

わたしはこのようなことから考えたら非言語コミュニケーションを使って

伝えるほうが好きだと思いました。かといって言葉を使わないわけには

いかないので写真と言葉をうまく利用したいです

3, 色

色は無限にあり、3つの属性が集まって出来ている

色相(Hue) どんな色合い？

彩度(Saturation) どのくらい鮮やか？

明度(Brightness) どのくらい明るい？

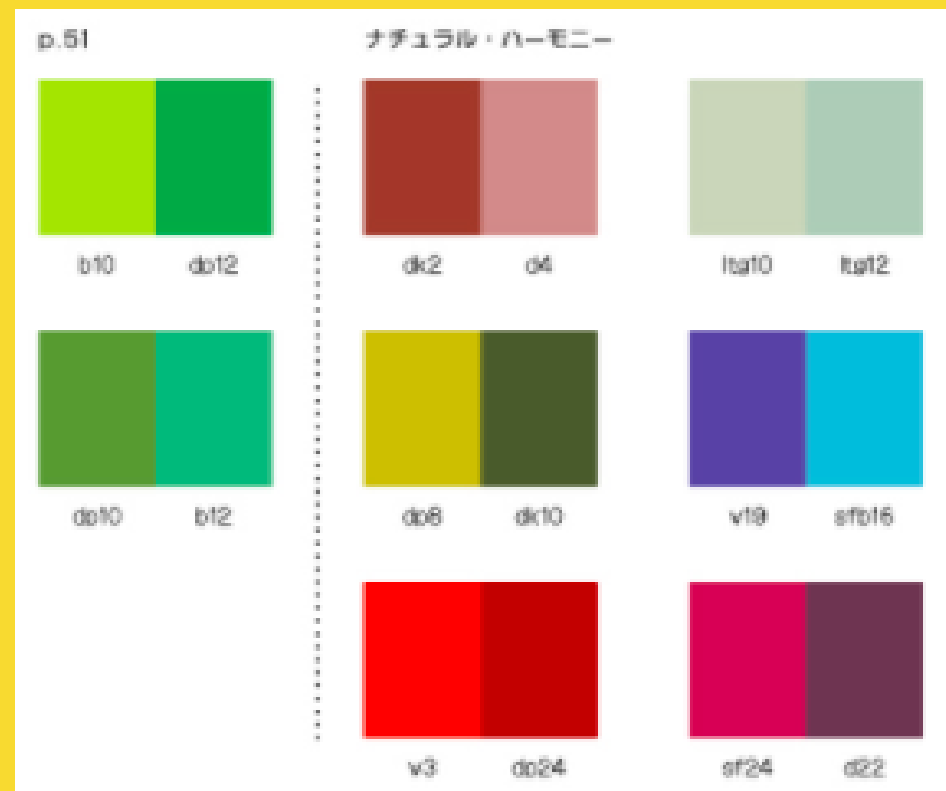


この3つを合わせることで無限の色をつくれる！！

では、ここでクイズです！！

自然で落ち着く色にするには??

A、黄色に近い色は明るく、青紫に近い色は暗くする！！



ナチュラルハーモニー

明度と彩度をこのバランスにすると、
自然に受け入れられやすい配色になる

人は色を左脳と右脳で判断している？！

左脳 ←————→ 右脳

機能的な色

説明や強調するために使う

- ・ 差をつける
- ・ 見やすくする
- ・ 注目させる
- ・ 記号として認識させる

情緒的な色

一目見たときの印象を左右する

- ・ 視覚に訴える
- ・ 記憶に訴える
- ・ 味覚に訴える
- ・ 触覚に訴える



今使おうとしている色の目的は左脳・右脳の特徴どちらなのかを考えて選ぶと良い

4, 写真

写真には見たときに綺麗だと思える構図がある

1, 主役に集中

- ・点構図
- ・日の丸構図
- ・フレーム構図



2, シンプルライン 3, 動きが生まれる

- ・シンメトリー
- ・二分分割構図
- ・三分割構図
- ・曲線構図
- ・放射線構図
- ・三角形構図

1,主役に注目

「点構図」



なにもない超シンプルな場所に
ぽつんと点を置いたような構図
被写体が注目を浴びる！！

「日の丸構図」



日の丸のように画面の中央付近に
見てほしい物を配置して撮る
構図。しかし、使いすぎると
面白みにかける。

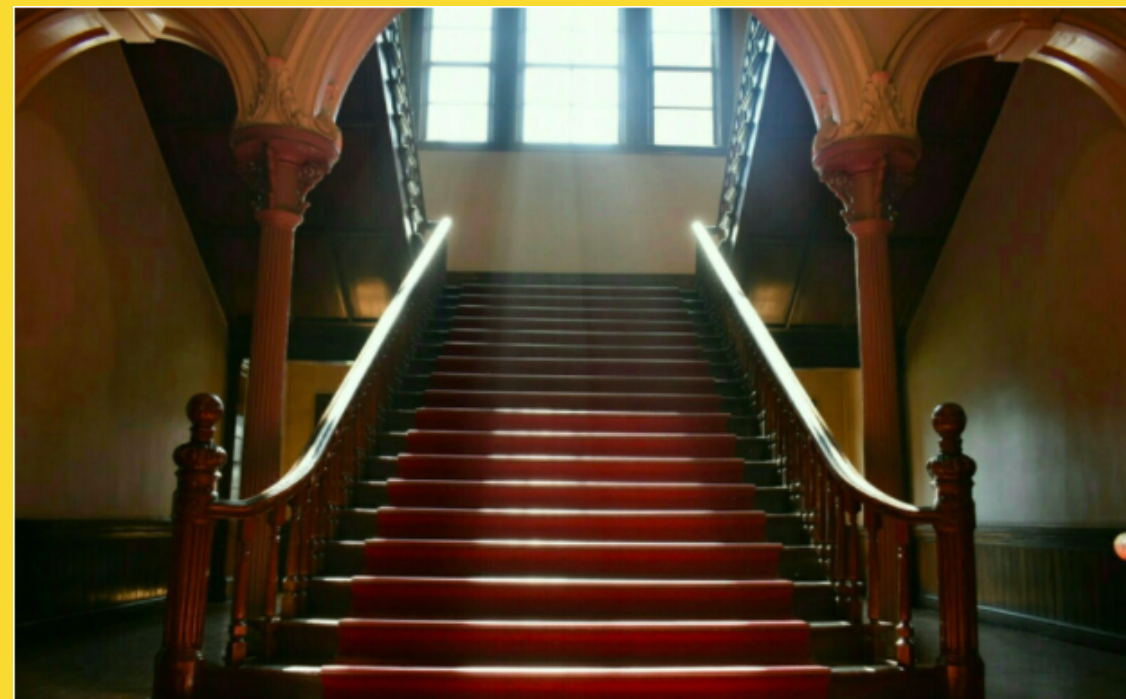
「フレーム構図」



四方に囲まれた中から奥を
写す方法は、メインに目がいきやすい。
被写体を引き立たせるために
周りのフレームは広すぎてもいけない

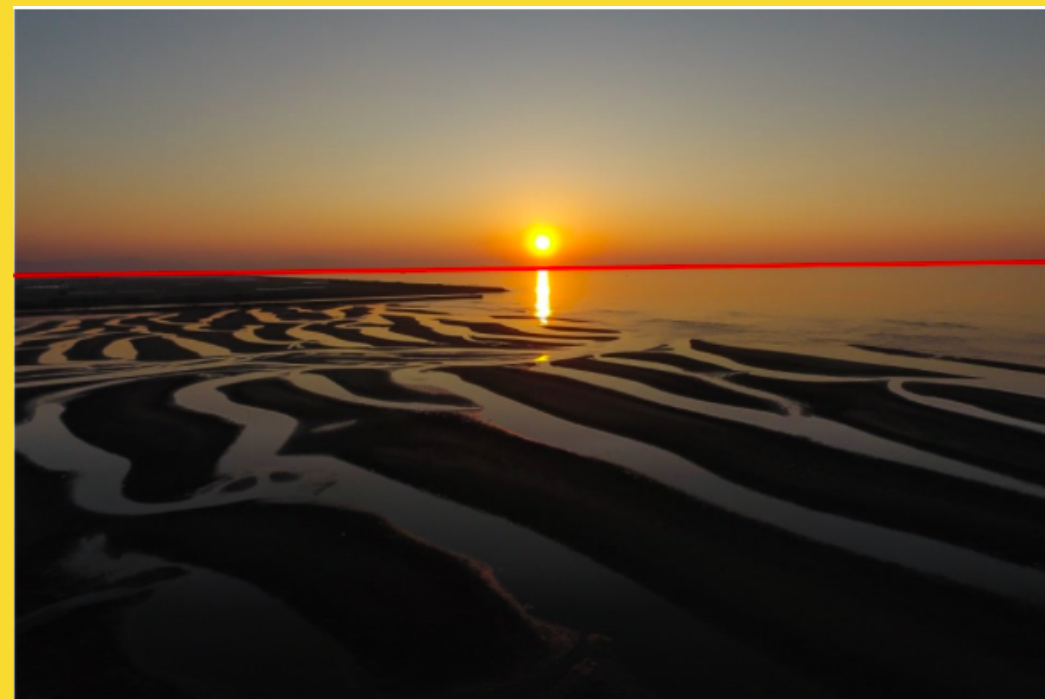
2, シンプルライン

「シンメトリー」



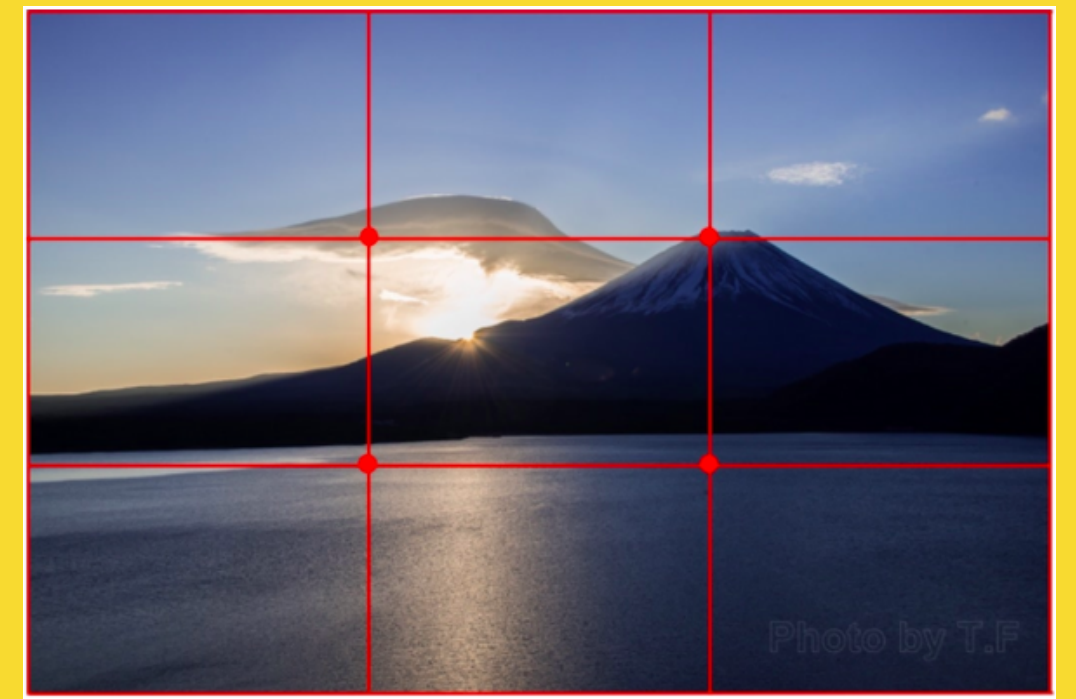
上下左右で対象になって
いる構図。半分が同じ要素
なのでスッキリして見える

「二分割構成」



画面を上下に二分割しシンプルで
見やすい。典型的な水平線や
地平線を生かした構図。

「三分割構図」



画面の縦横を三等分にしてできた
ラインを参考にして撮る構図。二分割の
構図より複雑な構図が出来るため
バリエーションが増える。

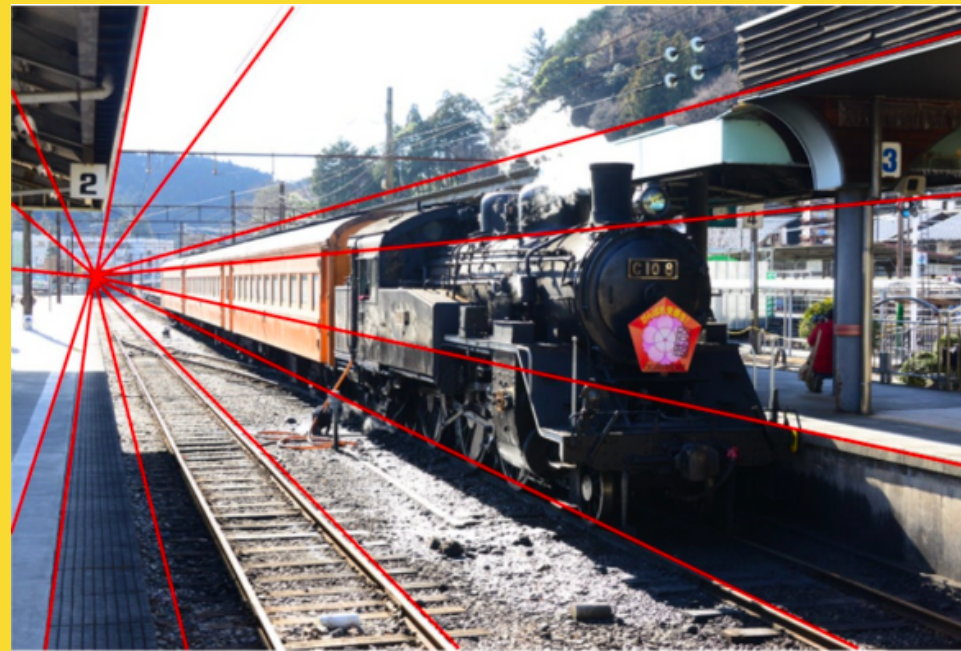
3, 動きが生まれる

「曲線構図」



丸みや曲線のある被写体の造形を取り入れたもの。川や地形など自然の曲線だけでなく人工的なものにも曲線は見つかる

「放射線構図」



放射線の向きを取り入れ構図。光の入れ方のラインの取り入れ方次第で様々なシーンに使える

「三角形構図」



三角形の構図似合わせて構成された構図。末広がりの構図は利便性が高く安定感抜群。また、ダイナミックに仕上がる。

ではここでクイズです！

どちらも富士山を撮った写真なのですが、
どちらが感じる写真で読む写真だと思いますか??



A,左が感じる写真で右が読む写真です!!!

まずまず読む写真と感じる写真とは、、、

「感じる写真」

- 1、主に絵を味わうために向いている
- 2、被写体を全部写すより写真全体の雰囲気優先
- 3、生々しくならないように抜けを作る

「読む写真」

- 1、主に説明に向いている写真
- 2、被写体そのものを過不足なく捉えている
- 3、ブレや色かぶりなどはノイズになるので少なめ



では実際にWebサイトを作ってみよう！！



<https://find-rainbow.studio.site/>

デザインを学んだ後、私の自己紹介を兼ねて作ったWebサイトはこちら

iPad・パソコンのみ対応しています。

携帯には対応しておりません

デザインを学ぶ前



デザインを学んだ後



<https://find-rainbow.studio.site/>

デザインを学んだ後と前ではフォントについて考えたり、背景と文字の色のバランスを見たりしたのでただ写真を貼ったりするだけとは違い工夫を凝らす事ができました。写真を編集したり配置を一から考えたりすることは大変だったし完成したと思っていざみると何故か重なっていたり消えていたり編集してまともにしていくのが大変でした。

・ 終わりに ・

私は今回デザインについて学んだ後、Webサイトを作ってみてデザインを考えながら働いている方々やWebサイトを作っている方々の凄さを知る機会になりました。デザインには答えがなく、自分の納得したものをどんどん突き進めていき進化していくものなので答えがないものの答えを見つけに
いっているところに憧れました。また、いろいろな方のWebサイトを閲覧して思ったことは、自分の趣味として色々なサイトを作り、デザインや作り方のコツをつかんでいけば世の中に出回っているような素晴らしいWebサイトを自分の手で作ることが出来るのではないかと感じました。
なので、これからは趣味としてもWebサイトを作っていきたいです！！！！

参考文献

なるほどデザイン 筒井 美希 著

[https://fotoria.net/ja/blog/bc/photo-shoot-](https://fotoria.net/ja/blog/bc/photo-shoot-techniques/sc/composition/ar/16-photo-layouts/)

[techniques/sc/composition/ar/16-photo-layouts/](https://fotoria.net/ja/blog/bc/photo-shoot-techniques/sc/composition/ar/16-photo-layouts/)

<https://liginc.co.jp/web/useful/116274>

<https://tomoki-photography.com/composition-13/>

https://news.mynavi.jp/article/20160725-kuma_camera/

<https://ameblo.jp/megukuma-22/entry-12394125918.html>

